

令和4年度 予算

一般会計予算額 42億7,400万円

令和4年第一回定例議会が3月1日に開かれ、令和4年度の当初予算が可決されました。一般会計予算額は、42億7,400万円です。前年度と比較して1億8,100万円、4.4%の増額となりました。一般会計を除く5つの特別会計の合計は、29億4,678万9千円となり、公営企業となる水道事業会計の予算額は、3億8,226万5千円となりました。

ここでは、一般会計を中心にその概要をお知らせします。

一般会計歳入

町が単独で確保できる町税などの「自主財源」は、17億9,785万9千円となりました。前年度と比較すると1億1,987万8千円増加しています。

また、地方交付税、国・県支出金、町債などの「依存財源」は、24億7,614万1千円となりました。地方財政計画の動向や前年度の交付実績の影響に伴う地方交付税の増により、前年度と比較して6,112万2千円増加しています。

歳入に占める割合は、自主財源が42.1%、依存財源が57.9%となっています。歳入に占める自主財源の割合が高いほど、町の自主性が高まり、財政も安定します。

一般会計歳出

歳出に占める割合の最も大きい民生費は、15億2,666万6千円で、35.7%となりました。前年度と比較し、9,902万8千円、6.9%増加しました。主な要因は、障害者自立支援給付費事業などの社会福祉に関する費用や後期高齢者の医療費が増えたことによるものです。

次に、総務費は、6億4,186万4千円で、全体の15.0%を占め、前年度と比較して1,156万1千円、1.8%増加しました。これは、地域おこし協力隊の1名増員、タクシー・バス利用券の拡充、令和6年度の評価替えに向けた鑑定評価を実施すること等によるものです。

また、土木費については、

3億9,190万8千円で、前年度と比較し、4,504万6千円、10.3%減少しました。これは令和4年度に完了予定の町道17号線道路改良事業（成瀬の減額や、町道3・236号線道路改良事業（黒岩）の完了などによるものです。

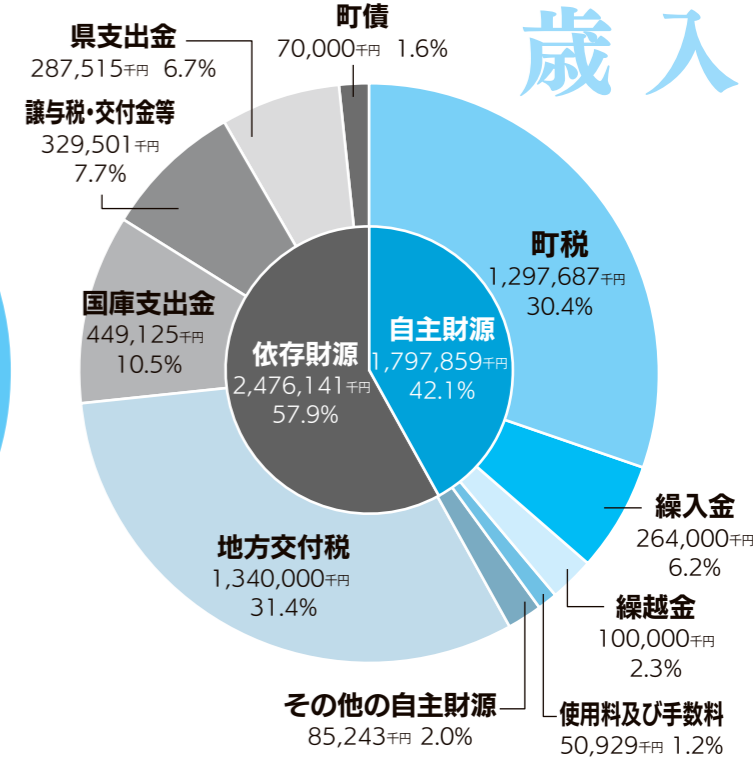
このほか、予算額の多い順として、衛生費、教育費、公債費、消防費、農林水産業費、議会費、商工費となっています。

性質別内訳を見ると、「義務的経費」である人件費、扶助費、公債費の合計額は、19億3,213万8千円となり、歳出全体のうち45.2%を占めました。

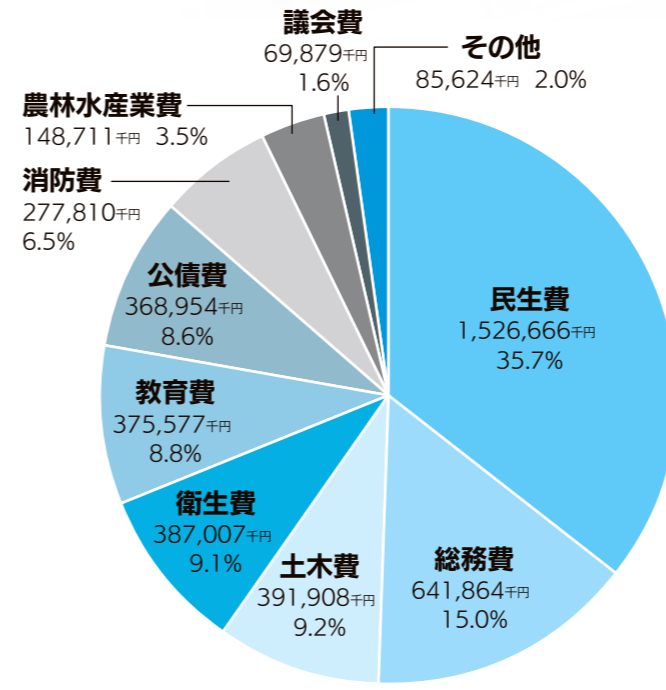
普通建設事業費などの「投資的経費」は、1億5,572万9千円で、前年度と比較して、6,777万1千円の減額となりました。これは歳出全体のうち、3.6%を占めています。

町民一人当たりに使われる予算額は38万9,995円となっています。

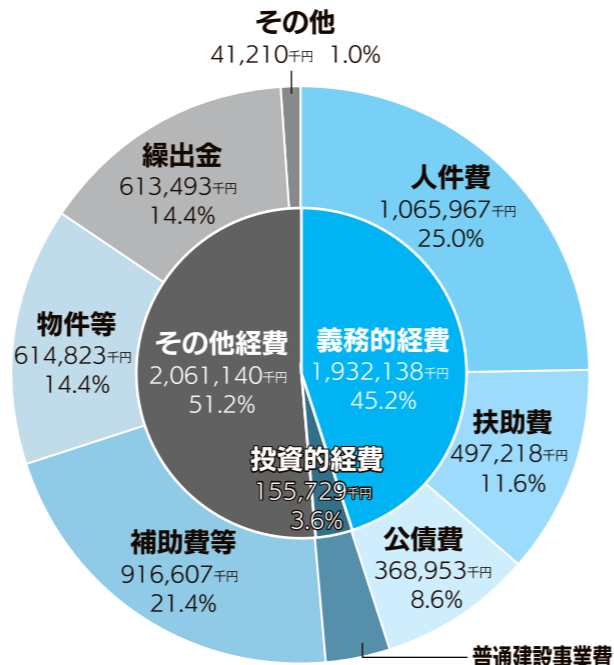
歳入



目的別歳出



性質別歳出



一人あたり

町民1人あたりに使われる金額 **380,995円**

議会費	6,229円	商工費	6,107円
総務費	57,217円	土木費	34,936円
民生費	136,091円	消防費	24,765円
衛生費	34,499円	教育費	33,480円
労働費	900円	公債費	32,889円
農林水産業費	13,256円	その他	626円

町民1人あたりの町税 **115,679円**

町民税	51,546円 (44.6%)
固定資産税	56,140円 (48.5%)
軽自動車税	3,491円 (3.0%)
町たばこ税	4,374円 (3.8%)
入湯税	128円 (0.1%)

(単位：千円)

会計名	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
公平委員会	287	287	0	0.0%
農業集落排水事業	25,716	25,700	16	0.1%
国民健康保険	1,506,300	1,555,000	△ 48,700	△ 3.1%
介護保険事業	1,234,436	1,205,222	29,214	2.4%
後期高齢者医療	180,050	167,800	12,250	7.3%
計	2,946,789	2,954,009	△ 7,220	△ 0.2%
収益的収入	303,756	305,891	△ 2,135	△ 0.7%
収益的支出	293,696	300,806	△ 7,110	△ 2.4%
資本的収入	2,300	400	1,900	475.0%
資本的支出	88,569	100,660	△ 12,091	△ 12.0%

※水道事業会計において、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額86,269千円は、過年度損益勘定留保資金で補てんします。

特別会計の予算